

J R 烏山線利用促進等特別委員会活動報告

山あげ祭に臨む市内の熱気が、迫り来る台風6号にも影響を及ぼしたのか、接近した低気圧の渦は雲散霧消し、3日間にわたる山あげ祭は天候にも恵まれ華やかな賑わいを見せました。

7月27、28日にJ R 烏山線「臨時列車」のお出迎えが、終点烏山駅前にて例年通り実施されました。市議会議員及び市職員や関係者が集まり、当番町の鍛冶町や、J R 烏山駅のある地元金井町の若衆も連日屋台を率いて、乗客の皆様の到着をお囃子独特の節回しで盛り上げていました。写真撮影などにも応じるなどして、観光にいらした方々が山あげ祭見学に期待とともに足を運んでいく姿が見られました。

今年は初めて烏山駅の発車予告メロディに、山あげ祭の定番曲であるお囃子が7月の期間限定で採用され、夏のお祭りムードを盛り上げることで、J R 烏山線と山あげ祭の周知と活性化が図られました。

J R 烏山線利用促進等特別委員会 副委員長 荒井 浩二



訪れた観光客を歓迎する議員